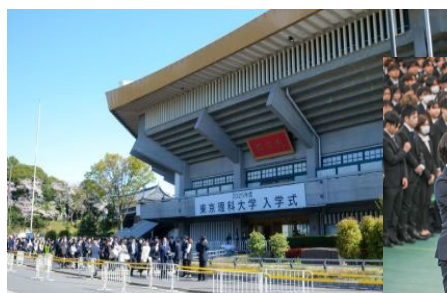


2025年度 入学式を挙行



2025年4月9日（水）、日本武道館（千代田区）において、2025年度入学式を挙行しました。本年度は学部、研究科、専攻科の学生合わせて5,942名が入学しました。

学長式辞では、石川 正俊学長から「今日、皆さんは、東京理科大学での学びの入り口に立っています。これから始まる新しい生活が、皆さんの未来へ繋がる道となります。その道がどんな道で、どんな未来にたどり着くかは、皆さん自身が決めるものです。



写真上＝入学式会場の日本武道館



写真下＝新入生宣誓

そのためには、自分の世界を持ち、自分自身で考えることが重要です。皆さんは、自分自身の未来の主人公でなければなりません。本学は様々な形で皆さんの学びを支援します。東京理科大学での皆さんの生活が、これから上次のステージの輝きを増すための大きな原動力となることを心から願っています。」とメッセージが贈られました。

薬学部が移転 2026年 新学部誕生!



写真上＝大型研究機器の搬送は大変です！

2003年神楽坂キャンパスから移転して来た薬学部がこの春、葛飾キャンパスに移転し21年間の野田キャンパスでの教育・研究活動に幕を下ろしました。これも発展していく東京理科大学の過程ではありますが、少し寂しい気もします。

常識は、覆されることを待っている。をキャッチコピーに2026

年4月野田キャンパスに創域情報学部* が誕生します。

多彩な34名の専任教員を配置し、先端企業の参画のもと類例のないスケールで研究活動が行われることになります。

創域情報学部は融合と共創を加速させる環境でイノベーションを創出します。

*仮称・設置構想中（設置計画や予定であり、内容は変更となる場合があります。



甦れ里山 理窓公園再生プロジェクト

～ かやねずみの谷津に広がる里山の風景 ～

先人の思いを継承し今後 100 年 緑豊かな里山として理窓公園を残していくことを目的に、本学教職員による理窓公園応援隊を発足しました。この理窓公園応援隊と、これまで整備に協力頂いていた関係各団体との連携を図り、里山再生プロジェクトとして公園整備活動を推進することになりました。



甦れた谷



2023年ボランティアによる除草



水路の橋架け



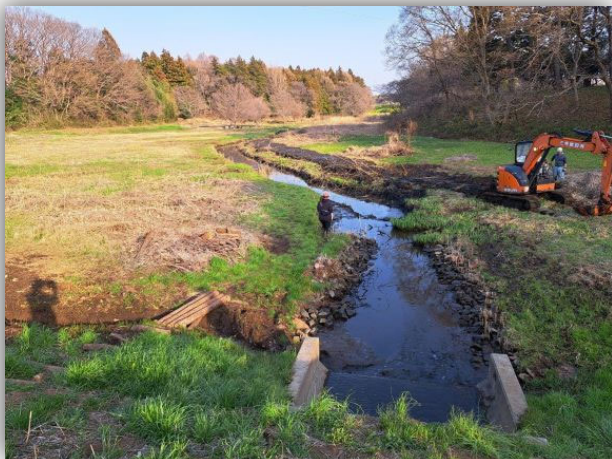
コウノトリ営巣台設置



学生の協力を得て水路掘り



土手の階段設置



甦った里山(かやねずみの谷津)



水路を重機で浚渫

2024年 谷津の全面除草が完了。シラサギの池側土手から運河側の土手まで畦道が繋がりました。繋がった両岸土手に階段を設置し、その間の水路に橋を架けました。また、上層から流れてくる水が滞って泥濘になっている場所に水路を掘り、中央の水路に繋げ敷地を改良しました。そして2025年3月中央水路に重機を入れて浚渫を行い、上層のシラサギの池の排水口を除草したうえで、滞っていた水を流し込みました。更に5月にはコウノトリ飛来地になるよう営巣台を設置する予定で、近い将来かやねずみの谷津でコウノトリが小魚を啄む様子が見られることでしょう。

野草観察と手打ちそばの会を開催（4/5） ～ 理窓公園の豊かな恵みを味わう～



4月5日(土) 地域連携室、理窓公園応援隊主催の「野草観察と手打ちそばの会」を理窓公園及びセミナーハウスで開催しました。当日は晴天に恵まれ、野草観察では大学近隣にお住いの小田さんの説明を受け、タラの芽、ハリギリ、モチグサ等の野草を10種類ほど採取しました。

野草観察後は、セミナーハウスに移り、採りたての野草を天ぷらにし、打ちたての蕎麦と共に頂きました。

参加者一同、改めて理窓公園の豊かな自然を感じ、これからもこの豊かな森を守って行くことを誓いました。

写真左＝野草観察と採取したタラの芽



写真左＝天ぷらを堪能
写真右＝そばを打つ青木部長と出来立ての野草の天ぷら



野田キャンカフェ 利根運河水辺散歩を開催（3/23） ～身近な川や湧水の水質を数値調べてみよう～

3月23日(日) 野田キャンカフェ利根運河水辺散歩を開催しました。講師に地質学専門の本学教養教育研究院 関 陽児教授をお招きし、利根運河水辺を歩きながら地形や歴史を学ぶ企画です。本学理科教育サークルSCOPから4名の学生さん達が協力してくれ、参加者から「利根運河がどう造られたことが理解できた。」「水質を測るなど、大人の自由研究みたいで楽しかった。」等、コメントを頂き、菜の花もきれいに水辺の散歩は大変好評だったようです。

写真右＝水辺公園付近 下＝湧水の測る参加者



「利根運河の空」を泳ぐ 東京理科大学の鯉のぼり(4/5)



4月5日(土) 利根運河交流館主催の「泳げみんなの鯉のぼり2025」が開催され、本学学生団体C4'sがデザインした「東京理科大学 鯉のぼり」が、利根運河に掲げられました。このイベントは、こどもの日に因んで企画されたもので、「鯉のぼり泳がせ隊」として一般から募集された60名の方々と、本学学生及び地域の皆様と協力し合い行われたものです。当日は天気にも恵まれ、桜のシーズンといったこともあり、多くの来場者が利根運河の空にたなびく170匹の鯉のぼりのもとお花見を楽しんでいました。

写真左＝利根運河にたなびく鯉のぼり



2024年度学位記・修了証書授与式を挙行（3/18） ～ 5,124人の旅だち ～



3月18日(火) 日本武道館（千代田区）で2024年度学位記・修了証書授与式を挙行しました。石川正俊学長は式辞において、「皆さんは、4月から、社会人として、あるいは大学院の学生として、新たなステージに上がります。東京理科大学での学びや生活のすべてが、将来、皆さんが主役となる数々のステージを力強く支えるかけがえのない土台となると思います。

東京理科大学は、ステージの上で自信に満ち溢れ、光輝く皆さんの姿を期待しています。」と卒業生、修了生にメッセージを贈りました。

写真左＝会場となった日本武道館 石川学長から学位記を授与される修了生
写真下＝研究室の仲間と記念写真



おめでとう



新保 國弘 氏 坊っちゃん賞を受賞

2024年度 理窓会（理科大同窓会）坊っちゃん賞に利根運河生態系を守る会会長 新保國弘氏が選出され、1月11日（土）に開催された理窓会主催の新年茶話会で表彰されました。

理窓会坊っちゃん賞は、東京理科大学の建学の精神「理学の普及」に相応しい社会貢献された方々や、芸術や冒険など様々な分野で人々の心に響く活動をされた方々など、本学の名声を高めることに多大に寄与された同窓に贈られる賞として、1999年に創設されました。

東京理科大学のイメージキャラクター坊っちゃんは夏目漱石の小説「坊っちゃん」の主人公が本学の前身、物理学校を卒業していることに由来しています。



今回、受賞された新保國弘氏は、自然保護団体や本学環境サークルの学生たちと「理窓会記念自然公園」内の動植物調査、観察会、講演会開催を実施し、学内外に対し、「理窓会記念自然公園」への興味・関心を高め、本学の目指している人と自然が共生する「地域づくり」の推進に尽力された。長年にわたる野田・流山地域においての地域密着型活動として評価されての受賞でした。

写真上＝増淵理窓会会長から記念の盾を授与される新保氏

NEWS

野田キャンパスオリジナルキャラクター「兵五郎とジャイワキ」が
間もなくデビューです。乞うご期待！

